

第4回「民都・大阪」フィランソロピー会議 議事概要

1 日時 平成31年3月26日(火) 10時00分から12時00分まで

2 場所 大阪市役所5階 特別会議室

3 出席者

会議メンバー

池内 啓三	学校法人関西大学理事長
大槻 文藏	公益財団法人大槻能楽堂理事長
金井 宏実	認定特定非営利活動法人大阪 NPO センター代表理事
高 亜希	認定特定非営利活動法人ノーベル 代表理事
阪田 洋	大阪府・大阪市副首都推進局副首都企画推進担当部長
白井 智子	特定非営利活動法人トイボックス代表理事
施 治安	「大阪を変える100人会議」顧問
出口 正之	国立民族学博物館教授
藤田 清	公益財団法人藤田美術館館長
堀井 良殷	公益財団法人関西・大阪21世紀協会理事長
松井 芳和	大阪府・大阪市副首都推進局副首都企画推進担当部長
森 清純	公益財団法人大阪コミュニティ財団専務理事

分科会関係

大杉 卓三	京都産業大学准教授(資金分科会リーダー)
佐々木利廣	京都産業大学教授(人材分科会リーダー)
中野 秀男	帝塚山学院大学特任教授(情報分科会リーダー)
施 治安	「大阪を変える100人会議」顧問(共創分科会リーダー)※再掲
辻 由紀子	大阪府子ども家庭サポーター(共創分科会メンバー)
中川 悠	NPO法人チュラキューブ/(株)GIVE&GIFT 代表(共創分科会メンバー)

4 議題

議題1 分科会について

議題2 「民都・大阪」フィランソロピー会議の当面の取組みについて

議題3 フィランソロピー大会 OSAKA2019(仮称)について

5 会議資料

次第・会議メンバー名簿・配席図

資料1-1 分科会について

資料1-2 人材・資金合同分科会

- 資料 1－3 情報分科会
- 資料 1－4 共創分科会（大阪のこども問題）
- 資料 1－5 共創分科会（福祉×伝統産業）
- 資料 2－1 「民都・大阪」フィランソロピー会議の当面の取組みについて
- 資料 2－2 当面の取組みにあたっての会議運営等について
- 資料 3 フィランソロピー大会 OSAKA2019（仮称）について

6 議事要旨

議題 1 分科会について

- (1) 会議規約に基づき、各分科会リーダーより、今年度の検討成果や次年度の取組みなどについて報告された。
- (2) 今後の対応
 - ・次年度の分科会については、資金分科会、人材分科会、情報分科会、共創分科会のいずれの分科会も、今年度に引き続き活動を継続することが確認された。
 - ・事務局より、分科会の今後の柔軟な運営のため、細則等について実態に即して必要な改正を行うことが提案され、会議メンバーに了承された。

議題 2① 「民都・大阪」フィランソロピー会議の当面の取組みについて

- (1) 資料 2－1に基づき、事務局より「民都・大阪」フィランソロピー会議の当面の具体的取組み(案)について説明し、会議メンバーで意見交換を行った。（概ね原案に沿って意見交換）
- (2) 意見等の概要は以下のとおり
 - ・学生はゼミとかサークル単位で色々な活動をしている。これをどんどん伸ばしていきたいし、そのパワーを活用して欲しい。
 - ・「寄附を生み出し、寄附を活かす取組」のところ、会議からの具体的発信として、万博の資金調達について、我々個人が市民として一人ひとりできる資金援助の方法としてふるさと納税を活用したプロジェクトを検討してはどうか。
 - ・企業のトップの方が社会課題解決のために意識を高めていく仕組みづくりとして、企業の非課税寄付枠の活用を呼びかけてはどうか。
 - ・現場で頑張る団体はたくさんあっても本業でいっぱいいっぱい。資金面が課題。持続可能な形で大阪の民の活動を支える枠組みづくりができないか。
 - ・企業セクターからの助言を取り入れたり、寄付先を探している財団と現場の団体のマッチング等、資金集めや資金分配についての仕組みづくりの検討ができないか。
 - ・顕彰の検討等について、会議体を活用して上手くできないか。
 - ・非営利セクターとの連携について、隣接する公園の活用を含めていろいろな主体が参加できる美術館のプログラムを考えていきたい。
 - ・会議の取組みのPRのために、誰か声の通るメンバーを入れることも検討してはどうか。
 - ・将来の美しい大阪をめざすために、文化の分科会の設立を検討してはどうか。

(3) 今後の対応

資料2-1は原案のとおり確認された。

議題2②当面の取組みにあたっての会議運営について

(1) 資料2-2に基づき、事務局より当面の取組みにあたっての会議運営について説明。出口議長、金井氏からも今後の運営に関して、あるべきプラットフォームの構成やプラットフォームがもつべき機能についてのイメージの提案があった。

(2) 今後の対応

次回会議で引き続き議論を行う。

議題3 フィランソロピー大会 OSAKA2019（仮称）について

(1) 事務局より、資料に基づき説明。会議メンバーで意見交換を行った。

(2) 意見等の概要は以下のとおり

- ・第2部について現場のプレーヤーだけではなく、府市の公民連携窓口や大学の社会連携窓口、財団等、大会の参加者が新しい連携・ネットワークを構築する相手となるような団体に参加してもらえないか。
- ・今後の企画の具体化にあたっては、会議メンバーの中から企画を担っていただける方を募り、その方と事務局とが調整のうえ進めてはどうか等の意見が出された。

(3) 今後の対応

次回会議で引き続き議論を行う。

その他（報告事項）

- ・事務局より、近畿大学 清水理事長が業務繁忙により今年度末をもって当会議のメンバーから外れることについて会議に報告された。